

2026 年 2 月 12 日

スポーツを通じて未来人材の成長を支援するチャレンジ支援事業  
「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」

## 2026 年度(第 20 期生)助成対象者 31 件を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2026 年度(第 20 期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」について、体験助成 16 件、研究助成 15 件、計 31 件(総額 2,698 万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2026 年 3 月中旬に実施します。

本助成制度は、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスを重視しています。四半期報告、中間報告会、成果報告会による PDCA サイクルの実践と異分野交流の促進、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや、オンラインを活用したサポートなど、成長機会を提供する支援プログラムが特徴です。

2026 年度の助成対象者も若い未来人材が多く集まりました。引き続き、助成対象者が成長のために学び、刺激し合う機会と、チャレンジを加速するサポートを提供します。

### 2026 年度(第 20 期生)の助成概要 ※活動期間は 2026 年 4 月から 2027 年 3 月

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	53 件	16 件	1,549 万円
スポーツチャレンジ研究助成	40 件	15 件	1,149 万円
計	93 件	31 件	2,698 万円



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: みすみ・やまかわ)

[www.ymfs.jp](http://www.ymfs.jp)

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500  
TEL : 0538-32-9827 FAX : 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan  
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

## 2026年度(第20期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2026年2月1日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3つのカテゴリで構成しています。

- ジュニア(上限70万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限100万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限150万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

区分	氏名	種目	チャレンジテーマ
ジュニア	黒田 胡桃	新体操/選手	日本代表として2028年ロス五輪 2032年ブリスベン五輪への出場及びメダル獲得
	清水 菜乃	フェンシング(フルーレ)/選手	U20世界選手権に日本代表として出場、メダル獲得
	吉崎 空乃	競技ダンス/選手	世界選手権決勝進出、国際大会上位入賞
	西野 太翔	フィギュアスケート/選手	世界ジュニア選手権優勝 2030年フランス五輪上位入賞
ベーシック	角谷 太樹	体操競技/選手	2028年ロス五輪で金メダル獲得
	杉 僚真	ウインドサーフィン/選手	ワールドカップU18ジュニアボーディングクラス優勝
	種田 なつは	アーティスティックスイミング/選手	国内主要大会で連覇・メダルを獲得、国際大会入賞
	千葉 忠輝	フェンシング(フルーレ)/選手	2028年のロス五輪を目指し、国際大会上位入賞
	豊澄 隆成	セーリング/選手	ILCA6を極め、ILCA7への飛躍 日本ユースセーラーとして世界トッププレーヤーへ
	平山 悠	トライアスロン/選手	国際大会上位入賞 ブリスベン五輪でメダル獲得
	古澤 陸	レスリング/選手	2026年U17世界選手権優勝 ブリスベン五輪で上位入賞
	安井 栄絢	体操競技/選手	2028年ロス五輪団体・個人で金メダル獲得
	横倉 つばみ	トライアスロン/選手	世界ジュニアトライアスロン選手権出場 国際大会上位入賞
	和田 健佳	アルペンスノーボード/選手	2027年デフリンピックにてGS,SL2種目で金メダル、 健聴者ワールドカップ出場
アドバンスド	島田 紗乃	アーティスティックスイミング/選手	2028年ロス五輪でメダル獲得
	野口 蜂	ウインドサーフィン・ウェイブ/選手	U21ワールドチャンピオン及び、プロクラスTOP20

## 2026年度(第20期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2026年2月1日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励①(上限60万円):大学院博士課程在籍もしくは満期退学者 1995年4月2日以降生まれの者
- 奨励②(上限80万円):大学院博士号取得後3年以内 1990年4月2日以降生まれの者
- 基本(上限120万円):大学院博士号取得後3年以上 1983年4月2日以降生まれの者

※五十音順

区分	氏名	所属	分野	チャレンジテーマ
奨励 ①	今井 彩乃 いまい あやの	立命館大学大学院	自然科学	低酸素環境を必要としない低酸素トレーニング :水泳における自発的低換気を用いた高強度スプリント運動の効果
	永原 悠利 えいはら ゆうり	立命館大学大学院		個人の筋特性と動作特性を基盤とした 効率的かつ安全な最適走動作の構築
	太田 一岳 おおた かずたか	東京大学大学院		爆発的筋力は遠隔部位の冷却により向上するか?
	狩野 遼太郎 かりの りょうたろう	電気通信大学大学院		運動による乳酸動態を筋細胞レベルで解明する
	胡 晓越 こ きょうえつ	広島大学大学院		暑熱下運動後における熱中症対策としての 動静脈吻合血管冷却の効果検証
	服部 桜 はっとり さくら	日本体育大学大学院		スポーツ関連遺伝子の機能検証モデルの確立 ~候補遺伝子から要因遺伝子へ~
	藤田 真子 ふじた まこ	同志社大学大学院		心拍-運動リズム同期化現象による血液循環最適化の解明
	今泉 拓 いまいずみ たく	鹿屋体育大学	人文 社会	概数効果を利用した目標設定の有効性に関する実験的検討 :野球パフォーマンスを例として
奨励 ②	嶋根 裕太 しまね ゆうた	東京大学大学院	自然科学	強化学習を用いたスポーツ義足と 身体制御の共設計による運動メカニズムの解明
	西川 太智 にしかわ だいち	立命館大学大学院		運動中に動員される筋線維と 筋肥大誘発性マイオカインの連関の解明
	牧野 晃宗 まきの あきとし	立命館大学		ランニング時のメカニカルストレスと骨代謝 :生理学および力学的アプローチによる疲労骨折のリスク解明への チャレンジ
	豊島 誠也 とよしま せいや	広島大学大学院	人文 社会	伝統スポーツを再解釈する若者たち -持続可能なスポーツ観の形成プロセスの解明
基本	井上 恒志郎 いのうえ こうしろう	北海道医療大学	自然科学	海馬に対する自発運動刺激の強制運動による代替可能性検討
	成 昌奨 そん ちゃんふあん	東京科学大学		運動におけるヒストンラクチル化に着目した乳酸バイオロジーの開拓
	川戸 湧也 かわと ゆうや	三重大学	人文 社会	SNS時代におけるスポーツの「道」概念の変容 :「柔道」と「野球道」の言説に見る伝統的価値観の再生産と汚染